

令和3年11月 文書質問及び回答

1 質問者 春日隆司議員

2 質問事項 カーボンネガティブ宣言について

(排出されるCO₂より吸収するCO₂が多い状態)

質問の内容・要旨	回答
<p>国は2020年10月、50年までにカーボンゼロを達成する目標を掲げています。二酸化炭素などを減らし、森林による吸収分などと相殺して実質的に排出量をゼロにしようするものです。</p> <p>こうしたことを受け、道内のゼロカーボンシティ宣言市町村は21(10月29日現在)となっています。名寄市も宣言し、持続可能な地域づくりを進めます。</p> <p>下川町において、私は、数年前から宣言を提言してきましたが、町長は、既存の計画内で対応との趣旨で今日に至っています。宣言は、確たる信念と決意を内外に示すものであり、そこの人・モノ・カネの好循環が生まれるもので、首長自らの発意が求められるものであります。そこで、</p> <p>① 下川町は何年にCO₂排出実質ゼロにするのでしょうか。</p> <p>また、これだけ宣言する自治体が増加していくことは、今後、国の補助金などの支援は各自治体の宣言市町村が優先されることも予想されます。こうした動きと下川町の特性から、森林吸収力を高め、炭素貯蔵を進めることによって可能なCO₂排出より吸収が多い、そして、自治体としては日本初と思われる、</p> <p>② カーボンネガティブ(ポジティブ)宣言をしませんか。</p>	<p>ご承知のとおり、パリ協定を受けて、国は2050年までに「ゼロカーボン(二酸化炭素排出実質ゼロ)」を達成する目標を掲げております。</p> <p>これを受け、北海道においても、「ゼロカーボン」の推進を図ることとし、専任の部署を設置し、積極的に推進しております。</p> <p>本町におきましては、現在のところ、「ゼロカーボン」に関連する施策について、地球温暖化対策は税務住民課、森林・畜産バイオマスは農林課、SDGsの推進は政策推進課がそれぞれ所管しており、地球規模での課題である「ゼロカーボンを強力に推進するうえで、一つの部署で取り組むことが重要であると考えております。</p> <p>ご質問の具体的な目標や目標年次、「カーボンネガティブ宣言」につきましては、体制を整えたうえで、調査研究を行うとともに、町民、議会とも相談しながら判断して参りたいと思いますのでご理解願います。</p>